



令和4年度老人保健事業推進費等補助金（老人保健健康増進等事業分）  
 「認知症カフェの類型と効果に関する調査研究」

## わが国における認知症カフェのビジョンと類型

### 目的

本事業は、平成28年度(2016)に実施された大規模全国調査の追跡調査を行い、わが国の認知症カフェの現在地の確認および10年目の総括、加えてコロナ禍からのリスタートへ向けて、今後の継続的かつ効果的な事業運営と評価等に役立つ基礎資料を得ることを目的に実施しました。そのうえで、検討委員会において、「認知症カフェのビジョンと類型」を作成しました。

### 概要

#### 主な事業内容

- ①検討委員会及び作業部会の開催
- ②市町村自治体を対象にした質問紙調査の実施：配布1,741件回収1,153件(回収率66.1%)
- ③認知症カフェ運営者を対象にした質問紙調査の実施：配布7,058回収3,659件(回収率51.8%)
- ④上記調査結果をもとに検討委員会において委員会提言「認知症カフェのビジョンと類型」作成

#### 主な結果・成果

### 認知症カフェのビジョンと類型(抜粋)

#### ●認知症カフェのビジョン

認知症カフェは、認知症のご本人があらためて人や地域と出会い、すべての人が認知症の深い理解(学び)につながる機会を作ることを目指している。そして、認知症カフェとは、認知症であってもなくても、だれもが住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができる「共生社会」実現のためにある。そのために、認知症ではない人も身近に自分事として認知症について考えるきっかけの場であり、多様な所属や属性の人々による運営を基盤として地域の中で開催される。

#### ●認知症カフェの類型

A 主たる運営者	B 主たる開催場所	C 主たる内容
行政	公共施設	①情報提供と学び
介護・医療等機関	介護保険事業所	②地域交流の促進
認知症関連団体	地域の民間運営スペース(屋外含)	③認知症早期支援
地域住民		

左記は明確に分類されるものではなく、それぞれの要素や方法がその地域の実情や状況に応じて融合し重なり合い展開される。「C主たる内容」はすべての要素を認知症カフェ運営者の工夫により、認知症の本人の声に耳を傾けたうえで、参加者すべてのニーズが満たされるよう最適なバランスを取りながら行われることを目指すものである。

#### ●これからの継続に向けた見直しポイント

- Point① 認知症の人が集まらないと感じる場合  
 運営メンバーに地域住民を、一次予防に偏らない、カフェタイムの時間、話しやすい環境
- Point② 認知症カフェの継続に不安がある場合  
 地域の施設を利用、ミニ講話の実施、ボランティア団体との協働、一次予防への偏りの是正
- Point③ 継続とリスタートに向けたチェックリスト  
 自治体職員との話し合いの機会、運営メンバーと目的共有、目的の周知、運営者の役割確認

### 成果物

研究事業報告書：調査協力者はじめ関係団体に送付するとともに、当センターウェブサイトに掲載しました。

